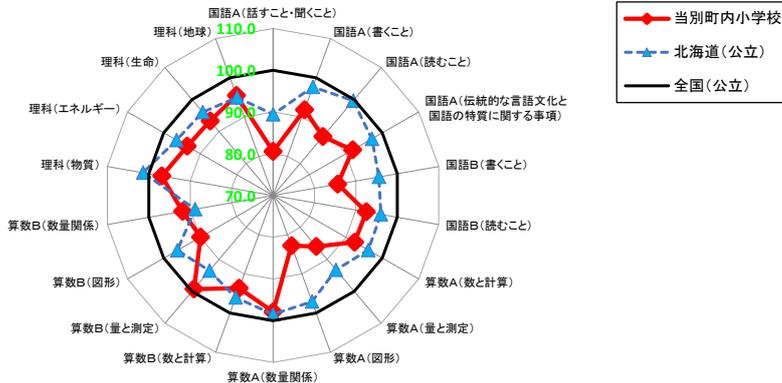


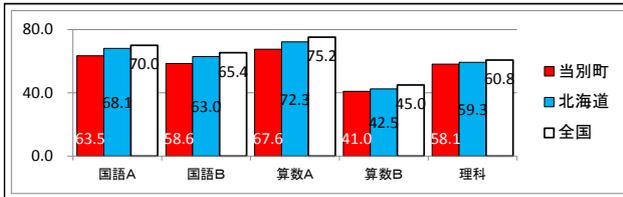
■当別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:124名)

【教科全体の状況】

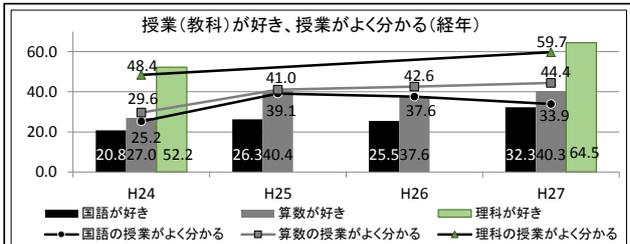
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



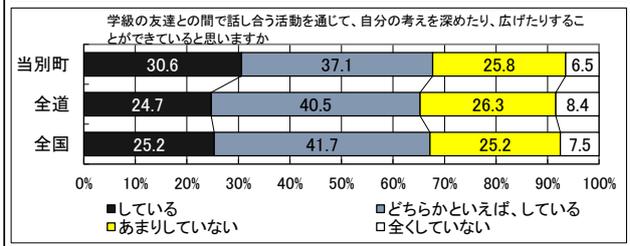
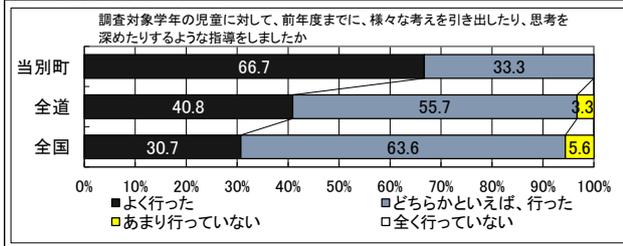
【平均正答率】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | ○ 算数Aでは「数量関係」、算数Bでは「量と測定」、理科では「地球」について、全国及び全道平均と差がないことから一定の定着が見られる。 | ○ 各学校で、児童に対して、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする指導の充実を図った結果、思考力・判断力・表現力等がはぐくまれ、自分の考えを深めたり、広げたりする児童の割合が増えたと考えられる。 |
| 児童質問紙 | ○ 各教科で、「好き」「授業がよく分かる」と回答した児童の割合が、平成24年度と比べて増加している。 ○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 | ○ 各教科で、「好き」「授業がよく分かる」と答えた児童の割合は、増加してきており、授業の工夫、改善の成果と考えられる。 |
| 学校質問紙 | ○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような指導を「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 | |

【当別町の学力向上策】

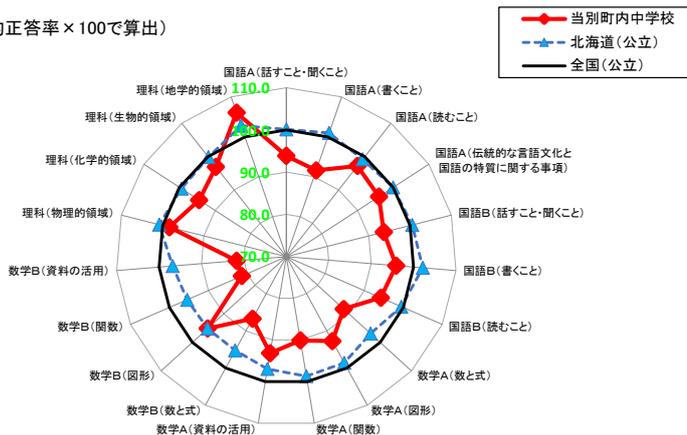
<学力向上の基本方針>

- 教員研修
 - ・ ICT機器の活用研修
 - ・ 巡回指導教員による指導
 - ・ 各種研修への参加
- 指導方法工夫改善
 - ・ T.T(ティームティーチング)指導、少人数指導、習熟度別指導の拡大
 - ・ ICT機器の整備
- 児童への支援
 - ・ 長期休業中の学習サポート
 - ・ 土曜学習、放課後学習の実施
- 一貫教育の推進
 - ・ 小中9年間を見通したカリキュラムの検討
 - ・ 一貫教育推進教員を派遣

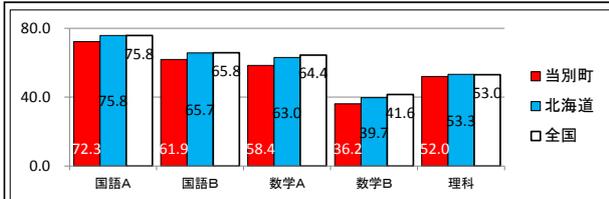
当別町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数:3、生徒数:146名)

【教科全体の状況】

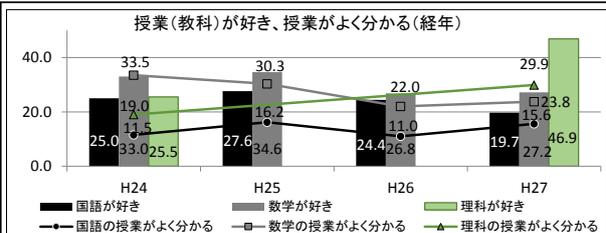
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



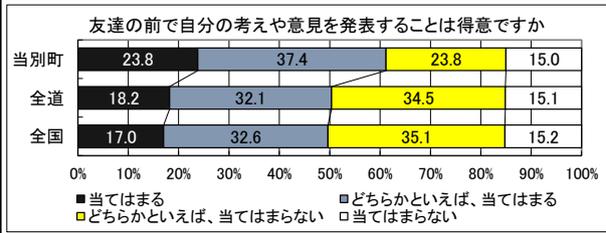
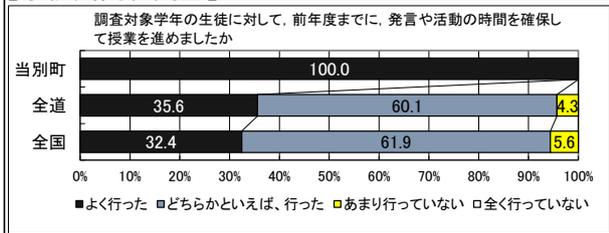
【平均正答率】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|---|
| 教科 | ○ 国語Aでは「読むこと」、数学Bでは「図形」、理科では「地学的領域」「物質的領域」で全国及び全道を上回る領域もあり、一定の定着が見られる。 | ○ 各学校で、計画的に発表を促す発問をしたり、グループでの活動を位置付けるなど発言や活動の時間を確保してきた結果、生徒は自信をもって自分の考えを発表できるようになり、思考力・判断力・表現力等がはぐまれ、友達の前で自分の考えを発表することが得意な生徒が増えたと考えられる。 |
| 生徒質問紙 | ○ 「数学、理科が好き」と回答した生徒の割合は平成24、26年度より増加しており、「授業がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全ての教科で平成26年度より増加している。 ○ 友達の前で自分の考えを発表することが得意と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 | ○ 「授業がよく分かる」と回答した生徒の割合は、各教科で平成26年度より増加しており、授業の工夫、改善の成果と考えられる。 |
| 学校質問紙 | ○ 全ての学校が、調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めたと回答している。 | |

【当別町の学力向上策】

＜学力向上の基本方針＞

- 教員研修
 - ・ ICT機器の活用研修
 - ・ 巡回指導教員による指導
 - ・ 各種研修への参加
- 指導方法工夫改善
 - ・ T、T(ティームティーチング)指導、少人数指導、習熟度別指導の拡大
 - ・ ICT機器の整備
- 生徒への支援
 - ・ 長期休業中の学習サポート
 - ・ 土曜学習、放課後学習の実施
- 一貫教育の推進
 - ・ 小中9年間を見通したカリキュラムの検討
 - ・ 一貫教育推進教員を派遣